

# 世 界 史

## 注 意

1. 問題は全部で 15 ページである。
2. 解答用紙は(その 1)(その 2)がある。解答用紙(その 1)はマーク・シートになっている。
3. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
4. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
5. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
6. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. H B の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の ○ を塗りつぶすこと。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

### 解答記入例(解答が 1 のとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/> ②	<input type="radio"/> ③	<input type="radio"/> ④	<input type="radio"/> ⑤	<input type="radio"/> ⑥	<input type="radio"/> ⑦	<input type="radio"/> ⑧	<input type="radio"/> ⑨	<input type="radio"/> ⑩
---	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことにならない。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

大航海時代にアジアに進出したヨーロッパ諸国は、初期には交易による利益を追求しようとしていた。そこで大きな役割を果たしたのが、東インド会社である。

オランダ東インド会社は、ジャワ島の C を拠点にしてポルトガル商人を、そして 16 A 1 年にモルッカ諸島でおこった D 事件を契機としてイギリス勢力をインドネシアから締めだした。この D 事件は、イギリスをインド経営に向かわせることになる。

イギリス東インド会社は、 B 1 ・ボンベイ・カルカッタを管区としてイギリス人総督を任命した。フランス東インド会社もベンガルの B 2 やインド東岸部の B 3 をフランス領としてインドで勢力を拡大しようとしたが、南インドでおこった3次にわたる E 戦争や 17 A 2 年のプラッシーの戦いでイギリスに敗れてインド経営から後退した。この双方の戦いで活躍したイギリス東インド会社書記 F は、初代のベンガル知事に任命されている。その後、 F はブクサールの戦いでベンガル太守を破り、ベンガル太守からディーワーニーと呼ばれる徵税権を獲得して、インドの領土支配に着手している。地税徵収制度としては、ベンガルなどで採用されたザミンダーリー制やインド南部や西部で採用された農民から直接徵税する G 制などがある。こうして、イギリス東インド会社は貿易商社から植民地統治機関に変質していくた。

その後、 18 A 3 に始まったシク戦争に勝利したイギリスは H 地域を併合し、インド全域の支配が確立していった。しかし、インド大反乱として知られるイギリス支配への抵抗運動が頻発した。その責任を問われてイギリス東インド会社は 18 A 4 年に解散させられ、イギリス本国政府がインドを直接統治することになった。

問 1 A 1 に入る西暦の下二桁の数字として最も適切なものを下の<数字>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 1 にマークしなさい。

問 2 A 2 に入る西暦の下二桁の数字として最も適切なものを下の<数字>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 2 にマークしなさい。

問 3 A 3 に入る西暦の下二桁の数字として最も適切なものを下の<数字>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 3 にマークしなさい。

問 4 A 4 に入る西暦の下二桁の数字として最も適切なものを下の<数字>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 4 にマークしなさい。

<数字>

- |      |      |      |      |
|------|------|------|------|
| ① 02 | ② 23 | ③ 44 | ④ 45 |
| ⑤ 57 | ⑥ 58 | ⑦ 65 | ⑧ 68 |

問5 [B1] に入る地名として最も適切なものを下の<地名>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [5] にマークしなさい。

問6 [B2] に入る地名として最も適切なものを下の<地名>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [6] にマークしなさい。

問7 [B3] に入る地名として最も適切なものを下の<地名>の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [7] にマークしなさい。

<地名>

- |            |           |
|------------|-----------|
| ① デリー      | ② マドラス    |
| ③ ゴア       | ④ ラホール    |
| ⑤ シャンデルナゴル | ⑥ ポンディシェリ |
| ⑦ ハイデラバード  | ⑧ アーメダバード |

問8 [C] に入る地名として最も適切なものを解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問9 [D] に入る事件名として最も適切なものを解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問10 [E] に入る戦争名として最も適切なものを解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問11 [F] に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [8] にマークしなさい。

- |         |          |          |
|---------|----------|----------|
| ① クライヴ  | ② ディズレーリ | ③ デュプレクス |
| ④ カルティニ | ⑤ ナオロジー  |          |

問12 G に入る地税徴収制度の呼び名として最も適切なものを解答用紙  
(その2)にカタカナで記入しなさい。

問13 H に入る地域として最も適切なものを、次の選択肢の中から一つ  
選び、その番号を解答用紙(その1)の 9 にマークしなさい。

① ハイデラバード    ② マラーター    ③ マイソール  
④ パンジャーブ    ⑤ アワド

II 次の文章を読んで、以下の問い合わせに答えなさい。

17世紀のヨーロッパは、近代合理主義の思想・学問が確立され、自然に対する研究が格段に進歩した、科学革命の時代であるとされる。天体運動の観察にもとづいて万有引力の法則を唱えたニュートンはこの時代の代表的自然学者である。また、事実の観察を重んじ、そこから法則を導く帰納法による A 論を説いたイギリスの B、数学的論証を用いる演繹法による C 論を打ち立てたフランスのデカルトらが、近代哲学への道を開いた。

自然科学の発達を支えた好奇心は、社会の考察へも向けられ、近代的な D 思想を生んだ。D とは、人間の本性<sup>ほんせい</sup>にもとづく普遍の法で、この思想によれば、国家の起源は、自然状態において自由かつ平等な個人が取り結ぶ契約( E )に求められた。オランダのグロティウスは、D 思想を国家間の関係に適用し、後に「国際法の父」と呼ばれるようになった。イギリスではホップズが自然状態を「 F に対する闘い」ととらえて、国家主権の絶対性を承認したのに対して、名誉革命の時代に生きた G は、不法な統治への人民の抵抗の権利を擁護した。

合理的な知を重んじて社会の不合理性を批判する立場は、つとにルネサンス期から見られたが、科学革命を経て18世紀には一層大きな潮流となった。これを H と呼び、とくにフランスで有力であった。『法の精神』でイギリスの憲政をたたえた I、カトリック教会を批判し『哲学書簡』でイギリスを賛美した J に続いて、 K が登場する。 K は『人間不平等起源論』において、全ての人の平等にもとづく人民主権論を主張し、フランス革命に多大な影響を及ぼした。 K は、他の H の論者が一般に文明の進歩を賞賛したのに対し、人間の本性を信じ文明化の害悪を指摘している。 L とダランペールの編集した『 M 』は、フランス H を集大成したもので、大きな社会的反響を呼んだ。

問14 A に入る語句として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 10 にマークしなさい。

- ① 真理      ② 経験      ③ 体験      ④ 直観

問15 B に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 11 にマークしなさい。

- ① フランシス・ベーコン      ② ライプニッツ  
③ ハーヴェー      ④ ポイル

問16 C に入る語句として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 12 にマークしなさい。

- ① 理性      ② 総合      ③ 合理      ④ 神秘

問17 D に入る語句として最も適切なものを解答用紙(その2)に記入しなさい。

問18 E に入る語句として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 13 にマークしなさい。

- ① 自然契約      ② 社会契約      ③ 支配契約      ④ 封建契約

問19 F に入る語句として最も適切なものを解答用紙(その2)に5文字で記入しなさい。

問20 G に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 14 にマークしなさい。

- ① スピノザ      ② アダム・スミス  
③ ヒューム      ④ ロック

問21 **H** に入る語句として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **15** にマークしなさい。

- ① 進化論                    ② ヒューマニズム  
③ 啓蒙思想                    ④ 観念論

問22 **I** に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **16** にマークしなさい。

- ① パスカル                    ② ウォルポール  
③ ラ・ファイエット                    ④ モンtesスキュー

問23 **J** に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **17** にマークしなさい。

- ① ヴォルテール                    ② ラヴォワジエ  
③ ユゴー                            ④ ポードレール

問24 **K** に入る人名として最も適切なものを解答用紙(その2)に記入しなさい。

問25 **L** に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **18** にマークしなさい。

- ① ケネー                    ② ディドロ                    ③ カント                    ④ フィヒテ

問26 **M** に入る語句として最も適切なものを解答用紙(その2)に記入しなさい。

III 第二次世界大戦後に生じた出来事に関する(ア)から(ケ)の文を読んで、以下の問いに答えなさい。

(ア) A の率いる抵抗運動によってナチスからの自力解放に成功したユーゴスラヴィアは、ソ連に対して自主的な姿勢をとったため、各国共産党の情報交換機関として結成された B から除名された。

(イ) ユーゴスラヴィアの A , エジプトの C , インドの D , ガーナの E など25か国の代表が出席して第1回 F 諸国首脳会議がベオグラードで開催された。この会議では、平和共生、民族解放の支援、植民地主義の打破をめざして共同歩調をとることが誓われた。

(ウ) スロヴェニア、 G , マケドニアが連邦からの分離独立を宣言した。

(エ) G は欧州連合(EU)の28番目の加盟国となった。

(オ) セルビア南部の H 自治州において、人口の9割以上を占めていた I 系住民がセルビア人勢力から激しい弾圧を受けて内戦状態に陥った。そこで、北大西洋条約機構(NATO)による空爆が行われ、セルビア人勢力は H 自治州から撤退した。

(カ) H はセルビアからの分離独立を宣言した。

(キ) J はセルビアとの間の国家連合を解消して新国家となった。

(ケ) K で展開された民族および宗教の対立に起因する三つ巴の激しい内戦は、米国の L 大統領の調停によってデイトン協定が締結されることにより終結した。

問27 (ア)から(エ)の文を年代順に古いものから新しいものに並び替えた組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の19にマークしなさい。

- ① (ア)→(イ)→(ウ)→(ケ)→(オ)→(キ)→(カ)→(エ)
- ② (ア)→(イ)→(ウ)→(ケ)→(オ)→(カ)→(キ)→(エ)
- ③ (イ)→(ア)→(ウ)→(ケ)→(オ)→(キ)→(カ)→(エ)
- ④ (イ)→(ア)→(ウ)→(ケ)→(オ)→(エ)→(キ)→(カ)
- ⑤ (ウ)→(イ)→(ア)→(ケ)→(オ)→(カ)→(キ)→(エ)

問28 Aに入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の20にマークしなさい。

- ① エリツイン
- ② チャウシェスク
- ③ テイトー
- ④ ドプチェック
- ⑤ ワレサ

問29 Bに入る語句として最も適切なものを解答用紙(その2)にカタカナで記入しなさい。

問30 C, D, Eに入る人名の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の21にマークしなさい。

- ① C:ナセル D:ガンディー E:エンクルマ
- ② C:ナギブ D:ジンナー E:ルムンバ
- ③ C:ナセル D:ネルー E:エンクルマ
- ④ C:ナギブ D:ガンディー E:ルムンバ
- ⑤ C:ナギブ D:ネルー E:エンクルマ

問31 Fに入る語句として最も適切なものを解答用紙(その2)に漢字で記入しなさい。

問32  G,  J,  K に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の  22 にマークしなさい。

- ① G : モンテネグロ J : クロアティア  
K : ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ
- ② G : クロアティア J : ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ  
K : モンテネグロ
- ③ G : クロアティア J : モンテネグロ  
K : ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ
- ④ G : ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ J : モンテネグロ  
K : クロアティア
- ⑤ G : モンテネグロ J : ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ  
K : クロアティア

問33  H,  I に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の  23 にマークしなさい。

- ① H : コソボ I : アルバニア
- ② H : ヴォイヴォディナ I : ロシア
- ③ H : コソボ I : ロシア
- ④ H : コソボ I : ギリシア
- ⑤ H : ヴォイヴォディナ I : アルバニア

問34  L に入る人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の  24 にマークしなさい。

- ① オバマ ② クリントン ③ ブッシュ(父)  
④ ブッシュ(子) ⑤ レーガン

問35 下線部 x に関連して、I 系住民の大量殺害への関与により、国際戦犯裁判に提訴された人名として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の25 にマークしなさい。

- ① アジェンデ
- ② ピノчет
- ③ ポル・ポト
- ④ マルコス
- ⑤ ミロシェヴィッチ

問36 下線部 y に関連して、内戦の当事者となった三つの勢力の組み合わせとして最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の26 にマークしなさい。

- ① クロアティア人、スロヴェニア人、セルビア人
- ② クロアティア人、セルビア人、ムスリム
- ③ クロアティア人、スロヴェニア人、マケドニア人
- ④ スロヴェニア人、セルビア人、マケドニア人
- ⑤ スロヴェニア人、セルビア人、ムスリム

問37 次の中で北大西洋条約機構(NATO)に加盟を認められた国として最も適切なものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の27 にマークしなさい。

- ① セルビア
- ② スロヴェニア
- ③ ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ
- ④ マケドニア
- ⑤ モンテネグロ

**IV** 以下の問いに答えなさい。

問38 1990年代以降の中国に関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **28** にマークしなさい。

- ① 1国2制度の下で、英國から香港、ポルトガルからマカオが、それぞれ返還された。
- ② 共産党総書記のポストは、江沢民から胡錦濤、胡錦濤から習近平へと引き継がれた。
- ③ 「社会主義市場経済」を掲げて、年率10%前後の経済成長をとげた。
- ④ 新疆ウイグル自治区は、漢族の流出が増加した結果、経済発展から取り残された。
- ⑤ 現在まで共産党による一党支配の体制が続けられている。

問39 1990年代以降の韓国に関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の **29** にマークしなさい。

- ① ソ連と国交を樹立したのに続いて、中国とも国交を樹立した。
- ② 1991年に国連に加盟した。
- ③ 金泳三政権は北朝鮮との融和を図る太陽政策を進めた。
- ④ 金大中大統領はピョンヤンを訪問して初の南北朝鮮首脳会談を実現させた。
- ⑤ 朴槿恵政権は中国との連携を強めた。

問40 1990年代以降の北朝鮮に関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 30 にマークしなさい。

- ① 独自の社会主義体制が維持されている。
- ② 1991年に国連に加盟した。
- ③ 核拡散防止条約からの脱退を宣言した。
- ④ 弾道ミサイル発射や核実験を繰り返すことにより東アジアの緊張を高めている。
- ⑤ 金正日の死亡を受けて、金日成が後継者となった。

問41 1990年代以降の東南アジア・南アジアに関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の 31 にマークしなさい。

- ① インドネシアでは30年以上独裁体制を維持してきたスカルノ政権が崩壊した。
- ② タイでは1997年のアジア通貨危機の影響を受けて経済が停滞した。
- ③ 東ティモールは住民投票を経て独立を果たし、国連にも加盟した。
- ④ スリランカでは政府によるタミル勢力の制圧によって内戦が終結した。
- ⑤ ミャンマーでは国民民主連盟(NLD)が選挙を通じて政権を獲得した。

問42 1990年代以降の旧ソ連に関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [32] にマークしなさい。

- ① ソ連の国連安全保障理事会常任理事国地位はロシアに承継された。
- ② プーチンは、2000年の就任以来今日まで、大統領として政権を維持している。
- ③ バルト三国は欧州連合(EU)と北大西洋条約機構(NATO)に加盟した。
- ④ ジョージアは独立国家共同体(CIS)に加盟したが、その後脱退した。
- ⑤ 1954年以降ウクライナ領だったクリミア半島はロシアによって併合された。

問43 1990年代以降のアフリカに関する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の [33] にマークしなさい。

- ① 国連は、ソマリアにPKOを派遣して暫定統治を行い、その国家再建に貢献した。
- ② ルワンダではツツの民兵が中心となってツチおよび稳健派ツツの虐殺が行われた。
- ③ コンゴ民主共和国の内戦には、鉱物資源に関する利権もあり、周辺諸国が介入した。
- ④ チュニジア、リビア、エジプトで民主化運動が起こり、独裁政権が倒れた。
- ⑤ アフリカの人口は11億人に達し、1000万人を超える都市も現れるようになった。

問44 1990年代以降の情報革命とグローバル化に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の  
34にマークしなさい。

- ① 米国や韓国では大統領選挙の運動にインターネットが利用された。
- ② グローバル化は環境の破壊や貧富格差の拡大をもたらすという批判がある。
- ③ 世界貿易機関(WTO)がGATTに代わって発足した。
- ④ 統一通貨ユーロが欧州連合(EU)のすべての加盟国に導入された。
- ⑤ 2008年の国際金融危機への対応のため、G20首脳会議が開催された。

問45 今日の貧困問題に関連する記述として適切ではないものを次の選択肢の中から一つ選び、その番号を解答用紙(その1)の  
35にマークしなさい。

- ① 現在、世界の5人に1人は一日1ドル以下で暮らしていると言われている。
- ② 2000年に、国連は富める国の援助で2015年までにすべての子どもの初等教育修了をめざす目標をかけた。
- ③ 政府開発援助(ODA)は格差の拡大を是正するための一つの方法である。
- ④ 途上国から先進国に移住して賃金の安い非熟練労働者として働く者が多い。
- ⑤ 国連は「持続可能な開発目標」の後継として「ミレニアム開発目標」を策定した。







